

# 神奈川県立小田原高等学校

第 11 期卒業生 47 周年同期会

2006 年 5 月 28 日

アルバム

湯本富士屋ホテル



昭和 34 年 (1959) 卒業

編纂 4 組 吉田 明 夫





受付をする幹事の皆さん







11 期常任幹事 今道さん (4 組)



乾杯の音頭をとる天利先生



同窓会長の小酒部さん (前々校長)



交流委員長の井上さん (1 組)



校長代理現教頭の





1



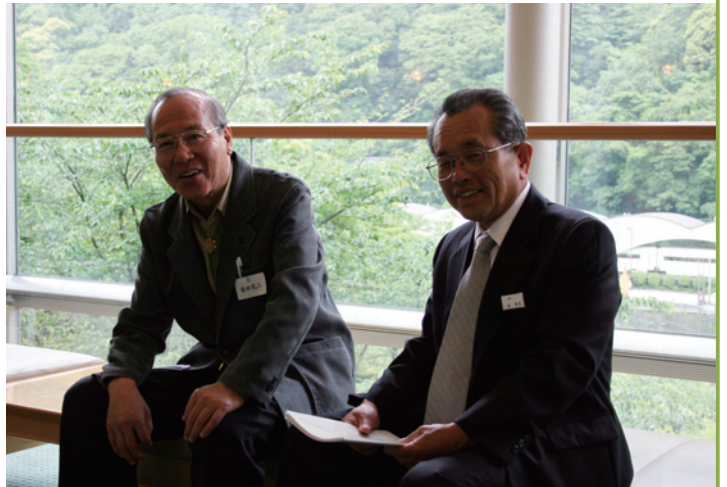


2





3





4





5





# 6





7





# 8







K. ミュージックの皆さん ピアノは寺門恵子さん  
カンツォーネを熱唱するお嬢さんの小百合さん ( 在校中は生徒会長 )

*Dio, Come Ti Amo*





昭和34年卒  
小田高第11期生の集い





## 冠たる伝統

作詞 小林好日（元本校教諭）  
作曲 小松耕輔

冠たる伝統うけつぎて  
学び鍛えし蚊竜か  
桜花乱るる八幡の  
山上凱歌あがるなり  
吾等健児よ小田高健児

二、象牙の塔へひたむきに

進む吾等に幸あらん  
烈日輝く八幡の  
山上凱歌あがるなり  
吾等健兒よ小田高健兒

MARCH (勇将に)

The musical score is written for a single melodic line in treble clef, 2/4 time. It consists of five staves of music. The first staff begins with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature. The melody is composed of eighth and quarter notes, with some rests. The second staff continues the melody, featuring a dynamic marking of 'mf' (mezzo-forte). The third staff also continues the melody, with a dynamic marking of 'mp' (mezzo-piano). The fourth staff features a key change to one flat (Bb) and a dynamic marking of 'mf'. The fifth staff concludes the piece with a key signature change to two flats (Bb and Eb) and a dynamic marking of 'f' (forte). The lyrics are written in Japanese and are aligned with the notes of the melody.

かん たーるでんとーうーけーつぎてーま

なびきた えーし こうーりゅー かー おー

おーかみだるーる はーちーまんーのー

さんじょうがーいかあがるなり われーらー けんじよー おだ

こーけんじー 2番 やう じー



月日のたつものは全く早いものでいつのまにか三年がすぎ、今日めでたく高校の全課程を終了し上級学校に職場に新しい天地を求めて

解放されるというだけでもお互いにめでたいことと存じます

いろいろな点で尽力を頂きました。友情と寛容に敬意と感謝の念を表わします。

瀬戸 仁

いまさら改めていうこともありませんが、まあ何ごとでもよいから力いっぱいやってみて下さい。

木島 熊一

物事は統計的に判断され、確率的に予言される。人の人柄、行動についてもいえる。過ちも成功への糧となるが仏の顔も三度、四度目からは人柄となり先が予言される(数Ⅲより)

井川 栄次

人生は希望をもつことによって活気が出てくる。自分から希望をもつように努力することが大切である。

松下 重美

復会う日まで 汝が身を離れられ。

國見 文夫

「試験はこれ意志の訓練なり」我々の生涯から試験は切離して考えられぬもの。強い心をもって絶えず勝ちぬこう。心から諸君の健康を祈る。

小森 武三郎

百獣の王ライオンは一匹の鼠を捕えるに満身の力を出す。「何ごとに対しても全勢力を尽し、油断するな」

天利 俊三

希望にあふれている三年生いろいろな手をやかせた先生も諸君の門出を心から祝っている。進め未来へ！

# 功勞賞授賞は

芹沢 君ほか十九名  
蔵田

生徒会関係

今道周雄 蔵田正志

海野尚光

図書 田中文一

文化部

中村了三(新聞部)

大倉富美雄(美術部)

松本 鈞(吹奏楽部)

海野尚光(英語部)

体育部

芹沢茂夫

柳川一郎

須山 徹

桜井光義

以上剣道部

小沢次男

秋沢宏衛  
以上蹴球部

福井 巖(卓球部)

枝野充雄 北見武男

尾登金五郎 以上陸上部

高橋辰男 高橋月雄

石黒忠正 鍵和田三郎  
以上庭球部

表彰状(延二七六名)

代表 田中和代

生徒会関係(九名) 文化部(八四名) 体育部(五二名) 水

一ムル一ム関係(一二一名)

皆勤賞(二七名)

代表 中村了三 石井敬士

精勤賞(二三名)

代表 後藤文男

日本育英会

辻 秀志

今日卒業生三九〇名は、三年間住みなれた小田高を去り、それぞれ希望の道を進んで行く。二度と繰返されない高校生活を、生徒会にクラブにいろいろな尽くしてくれた人々を表彰する功勞賞授与者は二月十七日の職員会議で決定された。表彰種別は例年通り変りないが精勤者が昨年の約半分の三三名に減っている。授賞者次の通り。

答辞 海野尚光

卒業生総代 物集女重幸



# 小田高 11 期生 47 周年の集い

2006 年 5 月 28 日(日) 於湯本富士屋ホテル

恩師 天利俊三先生  
同窓会長 小酒部晃久氏  
現教頭 稲木俊雄氏

常任幹事 今道周雄  
交流委員長 井上久嘉  
司会 湯川 豊  
町田和代

1

12 名

井上久嘉  
織田照子  
(青木)  
大矢紀一  
佐倉久隆  
澤村恭正  
田中道夫  
室伏和夫  
山宮尚枝  
(後藤)

柳澤肇子  
(小澤)  
吉富 睦  
清海哲男  
今井孝雄

2

10 名

尾崎照道  
片山幸男  
久野厚夫  
庄野佳辰  
高橋佳子  
(秋山)  
高橋文哉  
野村喜一郎  
三木邦之

村山懿典  
山田泰昌

3

8 名

根岸俊郎  
大野英市  
奥津紀一  
佐々木洋  
佐々木輝芳  
(田辺)  
辻 秀志  
府川昌弘  
望月郁文

4

13 名

今道周雄  
岩田秀明  
植田研二  
江口恵一郎  
大野正夫  
尾上保夫  
関山誉文  
西川岳男

廣瀬龍一  
山崎 泰  
湯川温三  
吉田明夫  
米山 勉

5

14 名

池永新一  
上野虔右  
加藤貞行  
菊地 茂  
後藤和勇  
椎野二郎  
竹内新児  
中津川泰司

西山俊夫  
物集女重幸  
渡辺寿勝  
中村 毅  
村田正孝  
堀内守和

6

12 名

天野好弘  
石塚敬一  
市川陸雄  
市川紀征  
井上幸三  
入野卓彦  
鍵和田三郎  
渋谷和夫

神保武司  
田代博信  
月村 博  
渡辺 馨  
(西山)

7

9 名

岩崎 弘  
内田興一  
(福住)  
佐々木幸男  
中澤秀夫  
藤井暉生  
堀口博高  
町田和代  
(田中)  
水口幸治

山本哲照

8

12 名

露木茂之  
須山 徹  
秦 昇  
安藤 彬  
豊住武志  
山崎旦義  
大藤尚士  
高橋公三

小林喜代子  
(石井)  
湯川 豊  
植田武二  
石田康一

● クラス幹事

参加同期生 90 名